

令和4年10月19日

高校へのアンケート調査結果（2022年）

IR室

標題の件、以下のとおり結果をご報告いたします。

アンケートを依頼し、回収できた高校は23校（昨年度は20校）。

昨年同様、アンケート調査は短期大学評価基準に則って実施した。

基準Ⅰ-C-1(5)「自己点検評価活動に高等学校等の関係者の意見聴取を取り入れている」

基準Ⅱ-A-5(9)「入学者受入れの方針を高等学校関係者の意見も聴取して定期的に点検している」

アンケート結果の概要は以下の通り。

1. アンケート内容

別紙のとおり

2. 回答高校の内訳

都立などの公立校14校、私立校9校。

3. 回答いただいた先生方（進路指導担当）

- ・男性16人、女性7人。
- ・年齢別では20歳台3人、30歳台4人、40歳台8人、50歳台7人、60歳台1人。
- ・高校教員歴は
3～5年未満3人、5～10年未満4人、10年以上16人
- ・担当教科は
数学5人、英語2人、国語3人、地歴公民2人、社会3人、商業2人、家庭科2人
ビジネス科1人、歴史総合・世界史1人（2名回答なし）

全体像としては、「教員歴の長いベテランの先生方」という印象

4. 本学に期待すること（複数回答可）

- | | |
|---------------------------|-----|
| ①美容知識・技術の習得 | 16人 |
| ②基礎・基本の徹底 | 8人 |
| ③学生の個性を伸ばす教育、社会の変化に対応した教育 | 各6人 |
| ④生涯学習の場の提供 | 5人 |
| ⑤幅広い学習内容の充実 | 4人 |
| ⑥学力の向上、4年制大学への編入支援 | 各3人 |

5. 本学において期待する学習成果（自由記述）

- ・卒業までのサポート
- ・就職率
- ・自立できるようになってもらいたい

- ・学んだ技術をしっかりと活かして就職できるような指導
 - ・就職の質
 - ・国家試験合格と幅広い就職先
 - ・希望したところに就職できること
 - ・就職者の増加
 - ・顧客とのコミュニケーション力
 - ・短大と専門学校で学ぶ成果の違い
 - ・幅広い視野の獲得（美容関連ないしそれ以外の分野の講座や実習の充実）
 - ・教養教育
 - ・競合する専門学校との違い
 - ・確かな知識と技術を身に付けられること
 - ・多様性に配慮した実践
 - ・専門性の技術の取得とビジネスマナーの指導
 - ・社会人として求められる専門的技能の習得
 - ・基礎・基本とそれを応用できる力、専門的な知識と技術
 - ・社会に貢献したいと思う心の育成
 - ・自立して社会生活を送れること
6. 前述の学習成果の達成度
 (1:大いに達成、2:達成、3:どちらとも言えない、4:あまり達成されていない
 5:全く達成されていない) ……点が低い方が高評価
 18校平均で2.4(5校は記述なし)。
7. 高校の学びが本学での学びにつながっているか
 (1:とてもそう思う、2:そう思う、3:どちらとも言えない、4:あまりそう思わない
 5:全くそう思わない) ……点が低い方が高評価
 23校平均で2.5(2校は記述なし)
8. 本学のアドミッションポリシーの適切性
 (1:とてもそう思う、2:そう思う、3:どちらとも言えない、4:あまりそう思わない
 5:全くそう思わない) ……点が低い方が高評価
 23校平均で1.9と概ね高い評価をいただいた。
9. 本学のアドミッションポリシーへの意見(自由記述)
- ・理系について触れられていないのが気になる
 - ・問題無しと思う
 - ・今後益々特徴を伸ばしていってもらえたらと思います
 - ・分かりやすくて良い
 - ・美道の明示。
 - ・「人と関わることが好きで、相手の笑顔に幸せを感じる人」はとても大事

10. 本学の入試方法の適切性

(1:とてもそう思う、2:そう思う、3:どちらとも言えない、4:あまりそう思わない
5:全くそう思わない) ……点が低い方が高評価

22校平均で1.9と概ね高い評価。

11. 本学の入試への意見（自由記述）

- ・オンライン型の必要性を感じられない
- ・推薦については高校現場の負担が減るような内容だとありがたい
- ・障害を抱えた生徒へもより柔軟な対応を期待しています
- ・2011年以降、生徒をお送りできていません。申し訳ない気持ちがいっぱいです。

12. 総評

- ・本学のアドミッションポリシーと入試方法については、平均評価1.9と概ね肯定的評価をいただいた。
- ・昨年度と同様、今年度も普段本学と接点がない高校へのアンケート調査であったため、「学習成果達成度」や「高校の学びが本学での学びにつながっているか」の項目では「3…どちらとも言えない」が多かった。
- ・一方で利害関係の無い一般的な高校教員の回答内容は、良い点だけでなく、参考になるものが多かった。
- ・本学への期待として「美容知識・技術の習得」は当然として、「基礎・基本の徹底」が2番目に多かった。美容知識・技術は当然として、社会人としての基礎力が期待されていると感じられる。
- ・本学に期待する学習成果では、「就職関係」が第一であるが、次に「専門学校との違い……教養教育や幅広い視野の獲得」が挙げられている。ディプロマシー6「美しく生きる力を実践できる能力（総合力）」が正に該当するものであり、本学の責務は極めて大きいと言える。
- ・高校の先生方の意見聴取は、自己点検評価活動に非常に有益と考えられ、今後も引き続き実施することとしたい。

以上

別紙

令和4年9月吉日

進路指導をご担当される先生方

山野美容芸術短期大学 IR室
(担当：藤野 Tel：042-677-0111)

山野美容芸術短期大学の課題と活性化に関するアンケート調査のお願い

本学の学生募集につきまして、いつも格別のご配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。本学としましては、教育内容の充実・向上を図り、学生の満足度向上と社会への貢献に万全を期して行く所存です。

現在本邦で進められている教育改革の流れの中で、学生の出身母体である高等学校の先生方のご意見をお伺いし、その内容を自学の教育内容の見直しにつなげていくことが求められています。つきましては、業務ご多忙のところ恐れ入りますが、裏面のアンケートにお応えいただきますようお願い申し上げます。

アンケート情報につきまして結果は公表しますが、個人が特定されないようにいたします。各項目について、率直なご意見を賜れば幸いです。

以上、よろしくお願いいいたします。

裏面のアンケートへのご回答をお願いいたします。

